平成 28 年度　病院事業決算状況　　都道府県名　宮崎県　　総務省

－ 目次 －

市町村・組合名	病院名	ページ
-	宮崎病院	2
-	延岡病院	3
-	日南病院	4
宮崎市	宮崎市立田野病院	5
日南市	日南市立中部病院	6
小林市	小林市立病院	7
日向市	日向市立東郷病院	8
串間市	市民病院	9
えびの市	市立病院	10
高原町	国保高原病院	11
都農町	都農町国民健康保険病院	12
椎葉村	椎葉村国民健康保険病院	13
美郷町	西郷病院	14
高千穂町	国保病院	15
日之影町	国保病院	16
五ケ瀬町	国保病院	17

病院事業決算状況

(28 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	
病院名	宮崎病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	46,153 ㎡	指定病院の状況	救臨が感　災
診療科数	22	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	589	64.2	66.0	63.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	42	72.5	73.8	74.7
感染症	7	-	-	-
計	638	64.1	65.8	63.3
平均在院日数（一般病床のみ）		12.3	12.3	12.8

設立団体の状況		
人口 (人)		1,104,069
決算規模 (千円)		550,873,422
標準財政規模 (千円)		327,322,457
財政力指数		0.33278
経常収支比率 (%)		92.2
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	14.2
	将来負担比率 (%)	122.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	90.8
修正医業収支金額 (千円)	11,844,201

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,284,871	1,459,850
資本勘定繰入	363,310	363,310
計	1,648,181	1,823,160

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	23.5
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,964,789			
1 経常収益	13,954,789			
(1) 医業収益	12,119,684			
① 入院収益	8,996,595			
② 外来収益	2,709,762			
診療収入計	11,706,357			
③ その他医業収益	413,327			
(うち他会計負担金)	275,483			
(2) 医業外収益	1,835,105			
(うち国・都道府県補助金)	17,564			
(うち他会計補助・負担金)	1,184,367			
(うち長期前受金戻入)	570,817			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,546,197			
2 経常費用	13,546,197			
(1) 医業費用	13,049,196			
① 職員給与費	6,221,122	51.3	56.1	50.8
② 材料費	3,420,898	28.2	23.9	27.3
(うち薬品費)	1,755,386	14.5	12.5	14.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,566,270	12.9	10.9	12.6
③ 減価償却費	990,206	8.2	9.3	8.6
④ 経費	2,340,878	19.3	23.1	20.7
(うち委託料)	1,108,409	9.1	11.1	11.4
⑤ 研究研修費	65,778			
⑥ 資産減耗費	10,314			
(2) 医業外費用	497,001			
(うち支払利息)	43,070	0.4	1.8	1.6
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	408,592			
損益 純損益	418,592			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.0		97.9	99.3
医業収支比率	92.9		88.4	92.4
他会計繰入金対経常収益比率	10.5		12.3	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	12.0		14.4	10.6
他会計繰入金対総収益比率	10.5		12.4	9.3
実質収益対経常費用比率	92.2		85.8	90.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	46,604,685
1 固定資産	29,918,854
(1) 有形固定資産	28,386,884
(2) 無形固定資産	460,460
(3) 投資その他の資産	1,071,510
2 流動資産	16,675,875
(1) 現金及び預金	5,441,853
(2) 未収金及び未収収益	4,561,559
(3) 貸倒引当金 (△)	42,651
(4) 貯蔵品	228,958
3 繰延資産	9,956
負債合計	39,851,643
1 固定負債	23,548,206
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,445,453
(2) その他の企業債	9,400
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,080,274
(7) リース債務	13,079
2 流動負債	13,191,010
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,113,174
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	819,085
(6) リース債務	4,054
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,650,376
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,112,427
(1) 長期前受金	35,262,804
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	32,150,377
資本合計	6,753,042
1 資本金	12,743,396
2 剰余金	-5,990,354
(1) 資本剰余金	110,476
(2) 利益剰余金	-6,100,830
負債・資本合計	46,604,685
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(28 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	
病院名	延岡病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	34,421 ㎡	指定病院の状況	救臨が感へ災地　輪
診療科数	23	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数

(%･日)

区分	病床数	28 年度	27 年度	26 年度
一般	456	67.1	65.3	70.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	460	66.5	64.7	69.3
平均在院日数（一般病床のみ）		13.9	14.5	15.4

設立団体の状況

人口 (人)		1,104,069
決算規模 (千円)		550,873,422
標準財政規模 (千円)		327,322,457
財政力指数		0.33278
経常収支比率 (%)		92.2
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	14.2
	将来負担比率 (%)	122.9

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	88.7
修正医業収支金額 (千円)	8,581,267

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	934,930	993,455
資本勘定繰入	752,293	752,293
計	1,687,223	1,745,748

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
28 年度	-	-
27 年度	-	-
26 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	23.5
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,512,229			
1 経常収益	10,162,748			
(1) 医業収益	8,848,411			
① 入院収益	6,630,133			
② 外来収益	1,849,598			
診療収入計	8,479,731			
③ その他医業収益	368,680			
(うち他会計負担金)	267,144			
(2) 医業外収益	1,314,337			
(うち国・都道府県補助金)	6,550			
(うち他会計補助・負担金)	726,311			
(うち長期前受金戻入)	563,559			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	349,481			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,364,280			
2 経常費用	10,364,280			
(1) 医業費用	9,676,055			
① 職員給与費	4,365,074	49.3	56.1	55.3
② 材料費	2,670,411	30.2	23.9	25.4
(うち薬品費)	1,288,830	14.6	12.5	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,311,305	14.8	10.9	12.0
③ 減価償却費	860,297	9.7	9.3	8.9
④ 経費	1,723,938	19.5	23.1	19.4
(うち委託料)	834,586	9.4	11.1	9.2
⑤ 研究研修費	45,813			
⑥ 資産減耗費	10,522			
(2) 医業外費用	688,225			
(うち支払利息)	312,111	3.5	1.8	1.7
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-201,532			
損益 純損益	147,949			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.1		97.9	98.4
医業収支比率	91.4		88.4	91.3
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		12.3	10.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.2		14.4	11.7
他会計繰入金対総収益比率	9.5		12.4	10.5
実質収益対経常費用比率	88.5		85.8	88.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円・%)

区分	決算額
資産合計	46,604,685
1 固定資産	29,918,854
(1) 有形固定資産	28,386,884
(2) 無形固定資産	460,460
(3) 投資その他の資産	1,071,510
2 流動資産	16,675,875
(1) 現金及び預金	5,441,853
(2) 未収金及び未収収益	4,561,559
(3) 貸倒引当金 (△)	42,651
(4) 貯蔵品	228,958
3 繰延資産	9,956
負債合計	39,851,643
1 固定負債	23,548,206
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,445,453
(2) その他の企業債	9,400
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,080,274
(7) リース債務	13,079
2 流動負債	13,191,010
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,113,174
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	819,085
(6) リース債務	4,054
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,650,376
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,112,427
(1) 長期前受金	35,262,804
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	32,150,377
資本合計	6,753,042
1 資本金	12,743,396
2 剰余金	-5,990,354
(1) 資本剰余金	110,476
(2) 利益剰余金	-6,100,830
負債・資本合計	46,604,685
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況

(28 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	
病院名	日南病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	23,668 ㎡	指定病院の状況	救臨　感　災
診療科数	20	看護配置	７：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	330	66.4	66.0	62.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	334	65.6	65.3	62.1
平均在院日数（一般病床のみ）		15.8	15.7	16.3

設立団体の状況

人口 (人)		1,104,069
決算規模 (千円)		550,873,422
標準財政規模 (千円)		327,322,457
財政力指数		0.33278
経常収支比率 (%)		92.2
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	14.2
	将来負担比率 (%)	122.9

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	82.7
修正医業収支金額 (千円)	4,973,132

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	496,965	541,548
資本勘定繰入	593,301	593,301
計	1,090,266	1,134,849

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	23.5
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,237,414			
1 経常収益	5,963,364			
(1) 医業収益	5,027,096			
① 入院収益	3,839,200			
② 外来収益	1,043,281			
診療収入計	4,882,481			
③ その他医業収益	144,615			
(うち他会計負担金)	53,964			
(2) 医業外収益	936,268			
(うち国・都道府県補助金)	6,278			
(うち他会計補助・負担金)	487,584			
(うち長期前受金戻入)	410,062			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	274,050			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,432,117			
2 経常費用	6,432,117			
(1) 医業費用	6,015,025			
① 職員給与費	2,970,148	59.1	56.1	56.5
② 材料費	1,196,386	23.8	23.9	24.1
(うち薬品費)	507,167	10.1	12.5	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	634,396	12.6	10.9	11.4
③ 減価償却費	633,499	12.6	9.3	9.1
④ 経費	1,167,738	23.2	23.1	21.6
(うち委託料)	573,446	11.4	11.1	10.6
⑤ 研究研修費	25,098			
⑥ 資産減耗費	22,156			
(2) 医業外費用	417,092			
(うち支払利息)	197,690	3.9	1.8	2.0
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-468,753			
損益 純損益	-194,703			
累積欠損金	8,569,007			
経常収支比率	92.7		97.9	96.7
医業収支比率	83.6		88.4	89.3
他会計繰入金対経常収益比率	9.1		12.3	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	10.8		14.4	12.6
他会計繰入金対総収益比率	8.7		12.4	11.0
実質収益対経常費用比率	84.3		85.8	86.1

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	46,604,685
1 固定資産	29,918,854
(1) 有形固定資産	28,386,884
(2) 無形固定資産	460,460
(3) 投資その他の資産	1,071,510
2 流動資産	16,675,875
(1) 現金及び預金	5,441,853
(2) 未収金及び未収収益	4,561,559
(3) 貸倒引当金 (△)	42,651
(4) 貯蔵品	228,958
3 繰延資産	9,956
負債合計	39,851,643
1 固定負債	23,548,206
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,445,453
(2) その他の企業債	9,400
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,080,274
(7) リース債務	13,079
2 流動負債	13,191,010
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,113,174
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	819,085
(6) リース債務	4,054
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,650,376
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,112,427
(1) 長期前受金	35,262,804
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	32,150,377
資本合計	6,753,042
1 資本金	12,743,396
2 剰余金	-5,990,354
(1) 資本剰余金	110,476
(2) 利益剰余金	-6,100,830
負債・資本合計	46,604,685
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(28 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	宮崎市
病院名	宮崎市立田野病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	4,129 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	6	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	42	82.3	69.3	66.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	82.3	69.3	66.6
平均在院日数（一般病床のみ）		17.1	21.0	22.4

設立団体の状況

人口 (人)		401,138
決算規模 (千円)		162,143,740
標準財政規模 (千円)		89,575,466
財政力指数		0.65
経常収支比率 (%)		93.2
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	8.8
	将来負担比率 (%)	55.9

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	74.9
修正医業収支金額 (千円)	516,189

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	114,751	115,549
資本勘定繰入	9,504	23,704
計	124,255	139,253

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	189.3
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	931,787			
1 経常収益	777,791			
(1) 医業収益	555,877			
① 入院収益	349,233			
② 外来収益	156,543			
診療収入計	505,776			
③ その他医業収益	50,101			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	221,914			
(うち国・都道府県補助金)	40			
(うち他会計補助・負担金)	75,861			
(うち長期前受金戻入)	3,422			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	153,996			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,032,624			
2 経常費用	1,028,336			
(1) 医業費用	689,557			
① 職員給与費	-	-	56.1	77.1
② 材料費	-	-	23.9	16.7
(うち薬品費)	-	-	12.5	10.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	5.1
③ 減価償却費	74,264	13.4	9.3	12.8
④ 経費	594,081	106.9	23.1	40.7
(うち委託料)	584,209	105.1	11.1	16.6
⑤ 研究研修費	678			
⑥ 資産減耗費	20,534			
(2) 医業外費用	338,779			
(うち支払利息)	16,255	2.9	1.8	1.8
(3) 特別損失	4,288			
損益 経常損益	-250,545			
損益 純損益	-100,837			
累積欠損金	1,052,105			
経常収支比率	75.6		97.9	96.9
医業収支比率	80.6		88.4	67.1
他会計繰入金対経常収益比率	14.9		12.3	32.4
他会計繰入金対医業収益比率	20.8		14.4	49.6
他会計繰入金対総収益比率	12.4		12.4	32.2
実質収益対経常費用比率	64.4		85.8	65.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,923,282
1 固定資産	1,626,740
(1) 有形固定資産	1,626,740
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	296,542
(1) 現金及び預金	185,695
(2) 未収金及び未収収益	111,488
(3) 貸倒引当金 (△)	641
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,282,235
1 固定負債	1,148,967
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	839,214
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	300,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	9,753
2 流動負債	52,767
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	41,577
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	5,794
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,296
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	80,501
(1) 長期前受金	209,259
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	128,758
資本合計	641,047
1 資本金	1,625,338
2 剰余金	-984,291
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-984,291
負債・資本合計	1,923,282
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

病院事業決算状況

(28 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	日南市
病院名	日南市立中部病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	7,377 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	9	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	88	68.8	68.4	66.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	88	68.8	68.4	62.5
平均在院日数（一般病床のみ）		17.2	17.7	31.0

設立団体の状況

人口 (人)		54,090
決算規模 (千円)		28,750,731
標準財政規模 (千円)		15,821,787
財政力指数		0.39
経常収支比率 (%)		92.0
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	10.7
	将来負担比率 (%)	89.5

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	79.6
修正医業収支金額 (千円)	968,157

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	280,000	280,000
資本勘定繰入	71,623	30,000
計	351,623	310,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	11.6
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,288,327			
1 経常収益	1,287,775			
(1) 医業収益	1,010,429			
① 入院収益	664,636			
② 外来収益	227,891			
診療収入計	892,527			
③ その他医業収益	117,902			
(うち他会計負担金)	42,272			
(2) 医業外収益	277,346			
(うち国・都道府県補助金)	2,790			
(うち他会計補助・負担金)	237,728			
(うち長期前受金戻入)	32,238			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	552			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,286,775			
2 経常費用	1,285,762			
(1) 医業費用	1,216,236			
① 職員給与費	828,428	82.0	56.1	68.5
② 材料費	99,676	9.9	23.9	17.7
(うち薬品費)	37,817	3.7	12.5	11.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	44,661	4.4	10.9	5.7
③ 減価償却費	92,448	9.1	9.3	12.1
④ 経費	190,752	18.9	23.1	32.0
(うち委託料)	58,361	5.8	11.1	12.2
⑤ 研究研修費	3,623			
⑥ 資産減耗費	1,309			
(2) 医業外費用	69,526			
(うち支払利息)	26,941	2.7	1.8	2.3
(3) 特別損失	1,013			
損益 経常損益	2,013			
損益 純損益	1,552			
累積欠損金	117,359			
経常収支比率	100.2		97.9	98.1
医業収支比率	83.1		88.4	76.4
他会計繰入金対経常収益比率	21.7		12.3	23.1
他会計繰入金対医業収益比率	27.7		14.4	31.6
他会計繰入金対総収益比率	21.7		12.4	23.5
実質収益対経常費用比率	78.4		85.8	75.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	2,178,943
1 固定資産	1,828,141
(1) 有形固定資産	1,809,293
(2) 無形固定資産	594
(3) 投資その他の資産	18,254
2 流動資産	350,802
(1) 現金及び預金	184,531
(2) 未収金及び未収収益	156,188
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	9,987
3 繰延資産	-
負債合計	1,729,477
1 固定負債	1,410,243
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,374,243
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	36,000
(7) リース債務	-
2 流動負債	218,069
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	112,872
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	50,254
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	54,451
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	101,165
(1) 長期前受金	948,931
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	847,766
資本合計	449,466
1 資本金	525,143
2 剰余金	-75,677
(1) 資本剰余金	5,600
(2) 利益剰余金	-81,277
負債・資本合計	2,178,943
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

病院事業決算状況

(28 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	小林市
病院名	小林市立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,077 ㎡	指定病院の状況	救臨感災地輪
診療科数	16	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	143	61.1	63.3	62.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	147	59.4	61.5	60.6
平均在院日数（一般病床のみ）		17.0	17.6	19.4

設立団体の状況

人口 (人)		46,221
決算規模 (千円)		28,665,806
標準財政規模 (千円)		14,619,712
財政力指数		0.37
経常収支比率 (%)		93.0
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	10.4
	将来負担比率 (%)	93.5

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	82.2
修正医業収支金額 (千円)	1,934,158

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	310,156	310,156
資本勘定繰入	52,962	52,962
計	363,118	363,118

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	53.8
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,436,559			
1 経常収益	2,419,409			
(1) 医業収益	2,036,201			
① 入院収益	1,451,342			
② 外来収益	430,439			
診療収入計	1,881,781			
③ その他医業収益	154,420			
(うち他会計負担金)	102,043			
(2) 医業外収益	383,208			
(うち国・都道府県補助金)	8,158			
(うち他会計補助・負担金)	208,113			
(うち長期前受金戻入)	113,414			
(うち資本費繰入収益)	4,999			
(3) 特別利益	17,150			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,478,696			
2 経常費用	2,478,696			
(1) 医業費用	2,354,270			
① 職員給与費	1,359,103	66.7	56.1	60.1
② 材料費	483,318	23.7	23.9	18.1
(うち薬品費)	294,608	14.5	12.5	9.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	183,673	9.0	10.9	8.1
③ 減価償却費	176,825	8.7	9.3	10.1
④ 経費	326,624	16.0	23.1	30.4
(うち委託料)	170,947	8.4	11.1	12.5
⑤ 研究研修費	7,086			
⑥ 資産減耗費	1,314			
(2) 医業外費用	124,426			
(うち支払利息)	60,154	3.0	1.8	1.9
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-59,287			
損益 純損益	-42,137			
累積欠損金	1,094,680			
経常収支比率	97.6		97.9	96.4
医業収支比率	86.5		88.4	83.6
他会計繰入金対経常収益比率	12.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	15.2		14.4	19.0
他会計繰入金対総収益比率	12.7		12.4	15.8
実質収益対経常費用比率	85.1		85.8	81.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	4,691,441
1 固定資産	4,255,053
(1) 有形固定資産	4,251,424
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	3,629
2 流動資産	436,388
(1) 現金及び預金	94,842
(2) 未収金及び未収収益	328,175
(3) 貸倒引当金 (△)	10,649
(4) 貯蔵品	23,609
3 繰延資産	-
負債合計	5,022,836
1 固定負債	3,483,692
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,747,661
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	300,000
(6) 引当金	436,031
(7) リース債務	-
2 流動負債	323,358
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	118,044
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	20,000
(5) 引当金	74,026
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	104,663
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,215,786
(1) 長期前受金	2,193,877
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	978,091
資本合計	-331,395
1 資本金	643,584
2 剰余金	-974,979
(1) 資本剰余金	119,701
(2) 利益剰余金	-1,094,680
負債・資本合計	4,691,441
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	331,395
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

病院事業決算状況

(28 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	日向市
病院名	日向市立東郷病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	1,228 ㎡	指定病院の状況	
診療科数	5	看護配置	否
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	30	-	15.1	59.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	-	15.1	59.5
平均在院日数（一般病床のみ）		-	14.3	17.2

設立団体の状況

人口 (人)		61,761
決算規模 (千円)		31,421,454
標準財政規模 (千円)		15,676,301
財政力指数		0.50
経常収支比率 (%)		94.5
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	11.6
	将来負担比率 (%)	79.2

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	31.3
修正医業収支金額 (千円)	84,584

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	146,552	153,622
資本勘定繰入	114	114
計	146,666	153,736

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	73.5
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	245,056			
1 経常収益	245,056			
(1) 医業収益	122,575			
① 入院収益	-			
② 外来収益	71,157			
診療収入計	71,157			
③ その他医業収益	51,418			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	122,481			
(うち国・都道府県補助金)	1,632			
(うち他会計補助・負担金)	115,631			
(うち長期前受金戻入)	1,088			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	270,671			
2 経常費用	270,671			
(1) 医業費用	270,667			
① 職員給与費	202,233	165.0	56.1	77.1
② 材料費	11,932	9.7	23.9	16.7
(うち薬品費)	5,941	4.8	12.5	10.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	5,989	4.9	10.9	5.1
③ 減価償却費	8,788	7.2	9.3	12.8
④ 経費	46,993	38.3	23.1	40.7
(うち委託料)	18,914	15.4	11.1	16.6
⑤ 研究研修費	611			
⑥ 資産減耗費	110			
(2) 医業外費用	4			
(うち支払利息)	4	-	1.8	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-25,615			
損益 純損益	-25,615			
累積欠損金	90,139			
経常収支比率	90.5		97.9	96.9
医業収支比率	45.3		88.4	67.1
他会計繰入金対経常収益比率	62.7		12.3	32.4
他会計繰入金対医業収益比率	125.3		14.4	49.6
他会計繰入金対総収益比率	62.7		12.4	32.2
実質収益対経常費用比率	33.8		85.8	65.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	256,125
1 固定資産	185,209
(1) 有形固定資産	184,866
(2) 無形固定資産	343
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	70,916
(1) 現金及び預金	28,595
(2) 未収金及び未収収益	13,635
(3) 貸倒引当金 (△)	155
(4) 貯蔵品	4,148
3 繰延資産	-
負債合計	20,474
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	14,509
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	6,333
(6) リース債務	135
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,871
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,965
(1) 長期前受金	9,397
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	3,432
資本合計	235,651
1 資本金	282,774
2 剰余金	-47,123
(1) 資本剰余金	33,016
(2) 利益剰余金	-80,139
負債・資本合計	256,125
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

病院事業決算状況

(28 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	串間市
病院名	市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	8,589 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	9	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	120	64.7	57.8	62.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	64.7	57.8	62.8
平均在院日数（一般病床のみ）		18.8	17.7	18.1

設立団体の状況

人口 (人)		18,779
決算規模 (千円)		12,449,521
標準財政規模 (千円)		6,762,554
財政力指数		0.26
経常収支比率 (%)		91.4
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	4.9
	将来負担比率 (%)	35.2

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	75.5
修正医業収支金額 (千円)	1,367,609

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	173,943	173,943
資本勘定繰入	64,185	64,185
計	238,128	238,128

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
28年度	178,943	12.7
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	71.3
健全化法上の資金不足額 (千円)	133,729
健全化法上の資金不足比率 (%)	9.4
地財法上の資金不足額 (千円)	133,729
地財法上の資金不足比率 (%)	9.4

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,638,406			
1 経常収益	1,638,406			
(1) 医業収益	1,408,994			
① 入院収益	846,101			
② 外来収益	465,700			
診療収入計	1,311,801			
③ その他医業収益	97,193			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	229,412			
(うち国・都道府県補助金)	16,168			
(うち他会計補助・負担金)	132,558			
(うち長期前受金戻入)	65,680			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,921,431			
2 経常費用	1,921,431			
(1) 医業費用	1,810,634			
① 職員給与費	845,786	60.0	56.1	60.1
② 材料費	237,154	16.8	23.9	18.1
(うち薬品費)	120,574	8.6	12.5	9.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	116,580	8.3	10.9	8.1
③ 減価償却費	164,981	11.7	9.3	10.1
④ 経費	554,765	39.4	23.1	30.4
(うち委託料)	311,256	22.1	11.1	12.5
⑤ 研究研修費	5,921			
⑥ 資産減耗費	2,027			
(2) 医業外費用	110,797			
(うち支払利息)	49,040	3.5	1.8	1.9
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-283,025			
損益 純損益	-283,025			
累積欠損金	1,004,915			
経常収支比率	85.3		97.9	96.4
医業収支比率	77.8		88.4	83.6
他会計繰入金対経常収益比率	10.6		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	12.3		14.4	19.0
他会計繰入金対総収益比率	10.6		12.4	15.8
実質収益対経常費用比率	76.2		85.8	81.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	3,249,914
1 固定資産	2,933,410
(1) 有形固定資産	2,873,301
(2) 無形固定資産	378
(3) 投資その他の資産	59,731
2 流動資産	316,504
(1) 現金及び預金	32,791
(2) 未収金及び未収収益	274,882
(3) 貸倒引当金 (△)	222
(4) 貯蔵品	8,611
3 繰延資産	-
負債合計	3,354,863
1 固定負債	2,390,284
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,327,840
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	59,977
(7) リース債務	2,467
2 流動負債	679,894
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	184,447
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	38,193
(6) リース債務	6,799
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	150,335
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	284,685
(1) 長期前受金	927,330
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	642,645
資本合計	-104,949
1 資本金	543,019
2 剰余金	-647,968
(1) 資本剰余金	356,947
(2) 利益剰余金	-1,004,915
負債・資本合計	3,249,914
不良債務	178,943
実質資金不足額	178,943
資本不足額 (△)	104,949
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(28 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	えびの市
病院名	市立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	3,569 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	5	看護配置	１５：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	50	68.4	70.3	66.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	68.4	70.3	66.3
平均在院日数（一般病床のみ）		31.3	29.4	28.3

設立団体の状況

人口 (人)		19,538
決算規模 (千円)		13,302,704
標準財政規模 (千円)		6,490,552
財政力指数		0.34
経常収支比率 (%)		92.0
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	2.7
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	71.1
修正医業収支金額 (千円)	595,508

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	253,790	253,787
資本勘定繰入	8,741	8,741
計	262,531	262,528

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	75.9
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	861,401			
1 経常収益	857,948			
(1) 医業収益	704,614			
① 入院収益	267,238			
② 外来収益	307,856			
診療収入計	575,094			
③ その他医業収益	129,520			
(うち他会計負担金)	109,106			
(2) 医業外収益	153,334			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	144,681			
(うち長期前受金戻入)	4,140			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,453			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	865,320			
2 経常費用	864,533			
(1) 医業費用	836,977			
① 職員給与費	398,778	56.6	56.1	68.5
② 材料費	221,932	31.5	23.9	17.7
(うち薬品費)	192,300	27.3	12.5	11.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,114	4.0	10.9	5.7
③ 減価償却費	30,536	4.3	9.3	12.1
④ 経費	183,033	26.0	23.1	32.0
(うち委託料)	73,132	10.4	11.1	12.2
⑤ 研究研修費	950			
⑥ 資産減耗費	1,748			
(2) 医業外費用	27,556			
(うち支払利息)	824	0.1	1.8	2.3
(3) 特別損失	787			
損益 経常損益	-6,585			
損益 純損益	-3,919			
累積欠損金	534,697			
経常収支比率	99.2		97.9	98.1
医業収支比率	84.2		88.4	76.4
他会計繰入金対経常収益比率	29.6		12.3	23.1
他会計繰入金対医業収益比率	36.0		14.4	31.6
他会計繰入金対総収益比率	29.5		12.4	23.5
実質収益対経常費用比率	69.9		85.8	75.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	824,042
1 固定資産	423,047
(1) 有形固定資産	422,519
(2) 無形固定資産	504
(3) 投資その他の資産	24
2 流動資産	400,995
(1) 現金及び預金	298,635
(2) 未収金及び未収収益	89,650
(3) 貸倒引当金 (△)	164
(4) 貯蔵品	11,874
3 繰延資産	-
負債合計	351,319
1 固定負債	256,003
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,029
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	237,974
(7) リース債務	-
2 流動負債	62,376
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,642
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	26,124
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,610
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	32,940
(1) 長期前受金	91,524
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	58,584
資本合計	472,723
1 資本金	988,691
2 剰余金	-515,968
(1) 資本剰余金	3,153
(2) 利益剰余金	-519,121
負債・資本合計	824,042
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

病院事業決算状況

(28 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	高原町
病院名	国保高原病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	4,051 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	3	看護配置	１５：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	56	76.0	73.8	69.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	76.0	73.8	69.7
平均在院日数（一般病床のみ）		30.1	28.7	23.0

設立団体の状況

人口 (人)		9,300
決算規模 (千円)		6,294,608
標準財政規模 (千円)		3,369,477
財政力指数		0.24
経常収支比率 (%)		90.1
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	8.2
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	71.5
修正医業収支金額 (千円)	650,252

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	158,105	269,121
資本勘定繰入	23,258	30,240
計	181,363	299,361

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	131,014	18.4

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	2.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	955,190			
１ 経常収益	949,753			
（1）医業収益	688,243			
① 入院収益	311,266			
② 外来収益	255,615			
診療収入計	566,881			
③ その他医業収益	121,362			
（うち他会計負担金）	37,991			
（2）医業外収益	261,510			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	231,130			
（うち長期前受金戻入）	21,827			
（うち資本費繰入収益）	5,388			
（3）特別利益	5,437			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	971,766			
２ 経常費用	950,423			
（1）医業費用	909,219			
① 職員給与費	394,792	57.4	56.1	68.5
② 材料費	74,404	10.8	23.9	17.7
（うち薬品費）	31,510	4.6	12.5	11.2
（うち薬品費以外の医薬材料費）	40,589	5.9	10.9	5.7
③ 減価償却費	72,548	10.5	9.3	12.1
④ 経費	357,576	52.0	23.1	32.0
（うち委託料）	97,622	14.2	11.1	12.2
⑤ 研究研修費	4,489			
⑥ 資産減耗費	5,410			
（2）医業外費用	41,204			
（うち支払利息）	24,137	3.5	1.8	2.3
（3）特別損失	21,343			
損益 経常損益	-670			
損益 純損益	-16,576			
累積欠損金	16,576			
経常収支比率	99.9		97.9	98.1
医業収支比率	75.7		88.4	76.4
他会計繰入金対経常収益比率	28.3		12.3	23.1
他会計繰入金対医業収益比率	39.1		14.4	31.6
他会計繰入金対総収益比率	28.2		12.4	23.5
実質収益対経常費用比率	71.6		85.8	75.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,488,966
１ 固定資産	1,325,058
（1）有形固定資産	1,324,798
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	260
２ 流動資産	163,908
（1）現金及び預金	47,591
（2）未収金及び未収収益	109,359
（3）貸倒引当金（△）	5,364
（4）貯蔵品	12,322
３ 繰延資産	-
負債合計	1,375,748
１ 固定負債	1,112,915
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	987,019
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	125,896
（7）リース債務	-
２ 流動負債	200,717
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	49,532
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	29,152
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	70,000
（8）未払金及び未払費用	52,033
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	62,116
（1）長期前受金	293,364
（2）長期前受金収益化累計額（△）	231,248
資本合計	113,218
１ 資本金	32,012
２ 剰余金	81,206
（1）資本剰余金	31,029
（2）利益剰余金	50,177
負債・資本合計	1,488,966
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(28 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	都農町
病院名	都農町国民健康保険病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	3,395 ㎡	指定病院の状況	救　感
診療科数	10	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	28 年度	27 年度	26 年度
一般	61	55.4	47.0	52.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	65	51.9	44.1	49.6
平均在院日数（一般病床のみ）		23.0	21.1	20.2

設立団体の状況

人口 (人)	10,391
決算規模 (千円)	13,770,791
標準財政規模 (千円)	3,447,044
財政力指数	0.29
経常収支比率 (%)	92.5
健全化判断比率 実質赤字比率 (%)	-
健全化判断比率 連結実質赤字比率 (%)	-
健全化判断比率 実質公債費比率 (%)	9.8
健全化判断比率 将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	81.9
修正医業収支金額 (千円)	676,489

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	131,992	131,992
資本勘定繰入	31,008	31,008
計	163,000	163,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
28 年度	-	-
27 年度	-	-
26 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	24.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	853,197			
1 経常収益	829,811			
(1) 医業収益	714,313			
① 入院収益	259,092			
② 外来収益	350,396			
診療収入計	609,488			
③ その他医業収益	104,825			
(うち他会計負担金)	37,824			
(2) 医業外収益	115,498			
(うち国・都道府県補助金)	4,232			
(うち他会計補助・負担金)	94,168			
(うち長期前受金戻入)	12,130			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	23,386			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	853,077			
2 経常費用	853,077			
(1) 医業費用	825,617			
① 職員給与費	385,038	53.9	56.1	68.5
② 材料費	220,712	30.9	23.9	17.7
(うち薬品費)	171,323	24.0	12.5	11.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	41,592	5.8	10.9	5.7
③ 減価償却費	22,854	3.2	9.3	12.1
④ 経費	195,260	27.3	23.1	32.0
(うち委託料)	66,437	9.3	11.1	12.2
⑤ 研究研修費	959			
⑥ 資産減耗費	794			
(2) 医業外費用	27,460			
(うち支払利息)	3,178	0.4	1.8	2.3
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-23,266			
損益 純損益	120			
累積欠損金	174,269			
経常収支比率	97.3		97.9	98.1
医業収支比率	86.5		88.4	76.4
他会計繰入金対経常収益比率	15.9		12.3	23.1
他会計繰入金対医業収益比率	18.5		14.4	31.6
他会計繰入金対総収益比率	15.5		12.4	23.5
実質収益対経常費用比率	81.8		85.8	75.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,075,718
1 固定資産	869,182
(1) 有形固定資産	845,478
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	23,704
2 流動資産	206,536
(1) 現金及び預金	87,980
(2) 未収金及び未収収益	105,918
(3) 貸倒引当金 (△)	2,911
(4) 貯蔵品	15,549
3 繰延資産	-
負債合計	833,058
1 固定負債	610,584
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	400,695
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	209,889
(7) リース債務	-
2 流動負債	98,861
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,487
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	28,730
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	58,644
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	123,613
(1) 長期前受金	530,490
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	406,877
資本合計	242,660
1 資本金	376,460
2 剰余金	-133,800
(1) 資本剰余金	40,469
(2) 利益剰余金	-174,269
負債・資本合計	1,075,718
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(28 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	椎葉村
病院名	椎葉村国民健康保険病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	2,173 ㎡	指定病院の状況	救 臨　へ
診療科数	3	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28 年度	27 年度	26 年度
一般	30	49.7	52.1	56.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	49.7	52.1	56.2
平均在院日数（一般病床のみ）		16.0	15.0	16.0

設立団体の状況		
人口 (人)		2,808
決算規模 (千円)		6,068,864
標準財政規模 (千円)		2,994,156
財政力指数		0.15
経常収支比率 (%)		81.7
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	11.6
	将来負担比率 (%)	0.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	70.9
修正医業収支金額 (千円)	342,843

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	162,141	120,000
資本勘定繰入	19,027	19,027
計	181,168	139,027

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
28 年度	-	-
27 年度	-	-
26 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	73.1
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	478,507			
1 経常収益	478,507			
(1) 医業収益	379,137			
① 入院収益	134,353			
② 外来収益	187,254			
診療収入計	321,607			
③ その他医業収益	57,530			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	99,370			
(うち国・都道府県補助金)	1,583			
(うち他会計補助・負担金)	83,706			
(うち長期前受金戻入)	12,293			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	508,124			
2 経常費用	508,124			
(1) 医業費用	483,859			
① 職員給与費	283,901	74.9	56.1	77.1
② 材料費	108,428	28.6	23.9	16.7
(うち薬品費)	91,956	24.3	12.5	10.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	13,177	3.5	10.9	5.1
③ 減価償却費	32,948	8.7	9.3	12.8
④ 経費	56,676	14.9	23.1	40.7
(うち委託料)	27,512	7.3	11.1	16.6
⑤ 研究研修費	1,538			
⑥ 資産減耗費	368			
(2) 医業外費用	24,265			
(うち支払利息)	10,813	2.9	1.8	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-29,617			
損益 純損益	-29,617			
累積欠損金	277,064			
経常収支比率	94.2		97.9	96.9
医業収支比率	78.4		88.4	67.1
他会計繰入金対経常収益比率	25.1		12.3	32.4
他会計繰入金対医業収益比率	31.7		14.4	49.6
他会計繰入金対総収益比率	25.1		12.4	32.2
実質収益対経常費用比率	70.6		85.8	65.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,123,651
1 固定資産	595,752
(1) 有形固定資産	595,752
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	527,899
(1) 現金及び預金	477,485
(2) 未収金及び未収収益	49,197
(3) 貸倒引当金 (△)	199
(4) 貯蔵品	1,416
3 繰延資産	-
負債合計	367,274
1 固定負債	193,099
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	193,099
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	55,423
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	22,946
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	17,357
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,287
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	118,752
(1) 長期前受金	188,313
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	69,561
資本合計	756,377
1 資本金	1,006,812
2 剰余金	-250,435
(1) 資本剰余金	26,629
(2) 利益剰余金	-277,064
負債・資本合計	1,123,651
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

病院事業決算状況

(28 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	美郷町
病院名	西郷病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	2,783 ㎡	指定病院の状況	救　へ
診療科数	4	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	28 年度	27 年度	26 年度
一般	29	64.9	80.9	79.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	29	64.9	80.9	79.9
平均在院日数（一般病床のみ）		18.0	22.5	20.1

設立団体の状況

人口 (人)		5,480
決算規模 (千円)		8,052,038
標準財政規模 (千円)		5,013,578
財政力指数		0.14
経常収支比率 (%)		88.3
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	7.3
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	65.3
修正医業収支金額 (千円)	372,973

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	180,000	180,000
資本勘定繰入	20,181	19,581
計	200,181	199,581

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
28 年度	-	-
27 年度	-	-
26 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	565,906			
１ 経常収益	565,906			
（1）医業収益	409,267			
① 入院収益	158,029			
② 外来収益	193,511			
診療収入計	351,540			
③ その他医業収益	57,727			
（うち他会計負担金）	36,294			
（2）医業外収益	156,639			
（うち国・都道府県補助金）	2,328			
（うち他会計補助・負担金）	143,706			
（うち長期前受金戻入）	8,385			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	587,461			
２ 経常費用	587,461			
（1）医業費用	571,543			
① 職員給与費	309,657	75.7	56.1	77.1
② 材料費	80,875	19.8	23.9	16.7
（うち薬品費）	54,734	13.4	12.5	10.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,604	5.3	10.9	5.1
③ 減価償却費	46,753	11.4	9.3	12.8
④ 経費	131,330	32.1	23.1	40.7
（うち委託料）	22,259	5.4	11.1	16.6
⑤ 研究研修費	1,551			
⑥ 資産減耗費	1,377			
（2）医業外費用	15,918			
（うち支払利息）	6,275	1.5	1.8	1.8
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-21,555			
損益 純損益	-21,555			
累積欠損金	-			
経常収支比率	96.3		97.9	96.9
医業収支比率	71.6		88.4	67.1
他会計繰入金対経常収益比率	31.8		12.3	32.4
他会計繰入金対医業収益比率	44.0		14.4	49.6
他会計繰入金対総収益比率	31.8		12.4	32.2
実質収益対経常費用比率	65.7		85.8	65.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,057,573
１ 固定資産	516,706
（1）有形固定資産	516,132
（2）無形固定資産	224
（3）投資その他の資産	350
２ 流動資産	540,867
（1）現金及び預金	470,950
（2）未収金及び未収収益	67,172
（3）貸倒引当金（△）	-
（4）貯蔵品	2,744
３ 繰延資産	-
負債合計	507,158
１ 固定負債	331,921
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	331,921
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	-
（7）リース債務	-
２ 流動負債	78,382
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	38,862
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	19,077
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	18,979
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	96,855
（1）長期前受金	198,460
（2）長期前受金収益化累計額（△）	101,605
資本合計	550,415
１ 資本金	538,451
２ 剰余金	11,964
（1）資本剰余金	-
（2）利益剰余金	11,964
負債・資本合計	1,057,573
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(28 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	高千穂町
病院名	国保病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	8,351 ㎡	指定病院の状況	救臨
診療科数	9	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	60	87.8	92.4	70.6
療養	60	71.8	78.7	73.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	79.8	85.5	71.1
平均在院日数（一般病床のみ）		21.0	17.6	16.7

設立団体の状況

人口 (人)		12,755
決算規模 (千円)		8,456,783
標準財政規模 (千円)		4,690,356
財政力指数		0.23
経常収支比率 (%)		90.3
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.4
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	93.3
修正医業収支金額 (千円)	1,837,600

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	201,345	174,888
資本勘定繰入	141,218	5,000
計	342,563	179,888

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,070,095			
1 経常収益	2,070,095			
(1) 医業収益	1,888,854			
① 入院収益	969,036			
② 外来収益	813,625			
診療収入計	1,782,661			
③ その他医業収益	106,193			
(うち他会計負担金)	51,254			
(2) 医業外収益	181,241			
(うち国・都道府県補助金)	2,723			
(うち他会計補助・負担金)	123,634			
(うち長期前受金戻入)	32,965			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,101,826			
2 経常費用	2,099,928			
(1) 医業費用	1,970,081			
① 職員給与費	924,260	48.9	56.1	60.1
② 材料費	291,502	15.4	23.9	18.1
(うち薬品費)	124,095	6.6	12.5	9.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	167,314	8.9	10.9	8.1
③ 減価償却費	142,044	7.5	9.3	10.1
④ 経費	601,243	31.8	23.1	30.4
(うち委託料)	189,075	10.0	11.1	12.5
⑤ 研究研修費	4,050			
⑥ 資産減耗費	6,982			
(2) 医業外費用	129,847			
(うち支払利息)	42,450	2.2	1.8	1.9
(3) 特別損失	1,898			
損益 経常損益	-29,833			
損益 純損益	-31,731			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.6		97.9	96.4
医業収支比率	95.9		88.4	83.6
他会計繰入金対経常収益比率	8.4		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.3		14.4	19.0
他会計繰入金対総収益比率	8.4		12.4	15.8
実質収益対経常費用比率	90.3		85.8	81.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	4,389,946
1 固定資産	3,341,700
(1) 有形固定資産	3,288,815
(2) 無形固定資産	378
(3) 投資その他の資産	52,507
2 流動資産	1,048,246
(1) 現金及び預金	719,610
(2) 未収金及び未収収益	298,974
(3) 貸倒引当金 (△)	680
(4) 貯蔵品	30,342
3 繰延資産	-
負債合計	2,236,832
1 固定負債	1,736,170
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,704,685
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	31,485
2 流動負債	309,706
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	150,112
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	59,572
(6) リース債務	8,728
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	85,790
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	190,956
(1) 長期前受金	729,552
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	538,596
資本合計	2,153,114
1 資本金	471,241
2 剰余金	1,681,873
(1) 資本剰余金	283,291
(2) 利益剰余金	1,398,582
負債・資本合計	4,389,946
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

病院事業決算状況

(28 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	日之影町
病院名	国保病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	4,378 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	3	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	50	46.1	46.4	54.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	46.1	46.4	54.4
平均在院日数（一般病床のみ）		21.8	22.2	23.5

設立団体の状況

人口 (人)		3,946
決算規模 (千円)		5,130,325
標準財政規模 (千円)		2,950,162
財政力指数		0.14
経常収支比率 (%)		85.2
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	7.2
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	71.8
修正医業収支金額 (千円)	427,311

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	188,880	188,880
資本勘定繰入	19,966	12,402
計	208,846	201,282

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	625,717			
1 経常収益	625,642			
(1) 医業収益	459,345			
① 入院収益	172,096			
② 外来収益	227,348			
診療収入計	399,444			
③ その他医業収益	59,901			
(うち他会計負担金)	32,034			
(2) 医業外収益	166,297			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	156,846			
(うち長期前受金戻入)	6,460			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	75			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	621,651			
2 経常費用	621,197			
(1) 医業費用	595,233			
① 職員給与費	311,536	67.8	56.1	68.5
② 材料費	122,066	26.6	23.9	17.7
(うち薬品費)	109,929	23.9	12.5	11.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	12,137	2.6	10.9	5.7
③ 減価償却費	51,753	11.3	9.3	12.1
④ 経費	109,033	23.7	23.1	32.0
(うち委託料)	59,195	12.9	11.1	12.2
⑤ 研究研修費	564			
⑥ 資産減耗費	281			
(2) 医業外費用	25,964			
(うち支払利息)	6,000	1.3	1.8	2.3
(3) 特別損失	454			
損益 経常損益	4,445			
損益 純損益	4,066			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.7		97.9	98.1
医業収支比率	77.2		88.4	76.4
他会計繰入金対経常収益比率	30.2		12.3	23.1
他会計繰入金対医業収益比率	41.1		14.4	31.6
他会計繰入金対総収益比率	30.2		12.4	23.5
実質収益対経常費用比率	70.3		85.8	75.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,130,430
1 固定資産	808,598
(1) 有形固定資産	783,383
(2) 無形固定資産	111
(3) 投資その他の資産	25,104
2 流動資産	321,832
(1) 現金及び預金	261,714
(2) 未収金及び未収収益	58,973
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	1,145
3 繰延資産	-
負債合計	539,607
1 固定負債	417,753
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	411,701
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	6,052
2 流動負債	74,902
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,798
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	19,234
(6) リース債務	2,507
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,120
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	46,952
(1) 長期前受金	118,103
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	71,151
資本合計	590,823
1 資本金	509,019
2 剰余金	81,804
(1) 資本剰余金	2,144
(2) 利益剰余金	79,660
負債・資本合計	1,130,430
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(28 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	五ケ瀬町
病院名	国保病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	3,771 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	7	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	28 年度	27 年度	26 年度
一般	36	69.9	67.6	72.8
療養	18	89.3	86.8	74.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	54	76.4	74.0	73.5
平均在院日数（一般病床のみ）		17.9	17.7	19.3

設立団体の状況

人口 (人)		3,887
決算規模 (千円)		3,952,284
標準財政規模 (千円)		2,380,831
財政力指数		0.12
経常収支比率 (%)		85.2
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	3.7
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	77.6
修正医業収支金額 (千円)	422,242

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	150,000	150,000
資本勘定繰入	-	-
計	150,000	150,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
28 年度	-	-
27 年度	-	-
26 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	578,026			
１ 経常収益	578,026			
（1）医業収益	459,742			
① 入院収益	276,235			
② 外来収益	125,482			
診療収入計	401,717			
③ その他医業収益	58,025			
（うち他会計負担金）	37,500			
（2）医業外収益	118,284			
（うち国・都道府県補助金）	1,592			
（うち他会計補助・負担金）	112,500			
（うち長期前受金戻入）	3,035			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	564,435			
２ 経常費用	564,017			
（1）医業費用	544,146			
① 職員給与費	264,631	57.6	56.1	68.5
② 材料費	40,325	8.8	23.9	17.7
（うち薬品費）	21,917	4.8	12.5	11.2
（うち薬品費以外の医薬材料費）	18,408	4.0	10.9	5.7
③ 減価償却費	26,384	5.7	9.3	12.1
④ 経費	212,033	46.1	23.1	32.0
（うち委託料）	54,215	11.8	11.1	12.2
⑤ 研究研修費	560			
⑥ 資産減耗費	213			
（2）医業外費用	19,871			
（うち支払利息）	8,933	1.9	1.8	2.3
（3）特別損失	418			
損益 経常損益	14,009			
損益 純損益	13,591			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.5		97.9	98.1
医業収支比率	84.5		88.4	76.4
他会計繰入金対経常収益比率	26.0		12.3	23.1
他会計繰入金対医業収益比率	32.6		14.4	31.6
他会計繰入金対総収益比率	26.0		12.4	23.5
実質収益対経常費用比率	75.9		85.8	75.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,302,903
１ 固定資産	721,660
（1）有形固定資産	720,789
（2）無形固定資産	871
（3）投資その他の資産	-
２ 流動資産	581,243
（1）現金及び預金	500,728
（2）未収金及び未収収益	73,873
（3）貸倒引当金（△）	-
（4）貯蔵品	6,641
３ 繰延資産	-
負債合計	696,300
１ 固定負債	546,761
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	546,761
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	-
（7）リース債務	-
２ 流動負債	84,223
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	49,700
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	17,989
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	16,534
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	65,316
（1）長期前受金	111,263
（2）長期前受金収益化累計額（△）	45,947
資本合計	606,603
１ 資本金	245,796
２ 剰余金	360,807
（1）資本剰余金	337,918
（2）利益剰余金	22,889
負債・資本合計	1,302,903
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。